

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	インプロアンサンブル3
科目基礎情報				
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	プレイヤーコース（ドラム）	開設期 前期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数 30時間
単位数	1単位			授業形態 演習
教科書/教材	スティックコントロール、シンコペーション、ADVANCED CONCEPT、JACK DE JOHNETTE、その他			
担当教員情報				
担当教員	堀越彰	実務経験の有無・職種	有・プレイヤー	
学習目的				
<p>ドラマーがアンサンブル内でやるべきことは多岐に渡ります。アンサンブル上、最初に音を出す楽器であることが多い為、他の楽器をまとめる基礎知識、基礎力が重要となる。基本的な技術力と応用力を習得し、行き来することができる音楽家になることをめざす。アンサンブルの中のリズムセクションの中心的役割を担い、即興的な対応力を身につけ、アンサンブルをよりよくするテクニックを身に着ける。</p>				
到達目標				
<p>ステックの握り方、ドラム椅子の座り方など基礎中の基礎をも一度見直すところから始める。基本をしっかりと学ぶことにより、アンサンブル内でのドラマーとしての役割を十二分に発揮できるようになる。1年は8ビート、16ビート、三連符、シャッフルビートなど、現在の音楽業界でよく使われるビートへの理解を深めていく。すべてのフレーズを楽譜を見ながら叩けるようになり、楽譜から音を出せることを目標とする。</p>				
教育方法等				
授業概要	練習台によるスティックコントロール、ドラムセットによるグルーブとフィールの習得、他の楽器とのアンサンブルによるリズムセクション形成方法と即興的アプローチのトライ。			
注意点	出席率を重要視します。続いて個々の目標に積極的に向かい向上しているか、個人練習の時間をしっかり取れているか。ドラムの上達には日々の個人練習も重要である。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。			
評価方法	種別	割合	備考	
	試験・課題	70%	試験結果による評価	
	小テスト	0%		
	レポート	0%		
	成果発表 (口頭・実技)	0%		
	平常点	30%	授業態度による評価	
授業計画（1回～15回）				
回	授業内容	各回の到達目標		
1回	スティックコントロール1	8分音符を基本にしたスティックコントロールと基本リズムアプローチ		
2回	スティックコントロール2	16分音符を基本にしたスティックコントロールと基本リズムアプローチ		
3回	リズム	8分音符、16分音符のリズム上での基本パターンの習得		
4回	リズムの応用	8分音符、16分音符のリズム上での応用パターンの習得		
5回	パラディドル①	パラディドルの基本を学ぶ		
6回	パラディドル②	パラディドルのリズムへの取り入れ方		
7回	パラディドル③	パラディドルの応用フレーズの習得		
8回	3連符とシャッフルビート①	3連符とシャッフルビートの基本パターンの習得		
9回	3連符とシャッフルビート②	3連符とシャッフルビートの応用パターンの習得		
10回	両手のコンビネーション	教則本スティックコントロールを使った右足と左手のコンビネーションの基本		
11回	両手のコンビネーション	教則本スティックコントロールを使った右足と左手のコンビネーションの応用		
12回	シンバルレガート	教則本 スティックコントロールを使った右足と左手のコンビネーションとシンバルレガート		
13回	シンバルレガート	教則本 スティックコントロールを使った右足と左手のコンビネーションとシンバルレガート		
14回	前期の復習	8ビートの基本パターンの復習、8ビートのフィルインの習得		
15回	前期の復習	16ビートの基本パターンの復習、16ビートのフィルインの習得		